

JPDA 9月定例理事会議事録

日 時：平成27年9月9日（水）午後1時30分～午後5時45分

場 所：東京ガーデンパレス 3階 白鳳

東京都文京区湯島1-7-5 TEL. 03-3813-6231

出席者：理事22名中18名（加藤芳夫、伊藤 透、井上 聡、牛島志津子、

梅原 真、江藤正典、小川裕子、加藤和美、加藤憲司、菊地泰輔、

田川雅一、竹内清高、永島 学、中森恭平、名久井貴信、

森 孝幹、八木勇達、山崎 茂）

欠席届（畝野裕司、信藤洋二、藤田 隆、丸本彰一）

監事2名中2名（池田 毅、島崎英雄）

議事の経過：

定款第31条（議長）により加藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者18名を確認、定款第32条（決議）による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が加藤芳夫理事長、伊藤透副理事長、池田毅監事、島崎英雄監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

（決裁事項の議案号数はゴシック。）

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに入会申込み個人2人があり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の個人2人の入会を承認した。

（1）個人会員（2人）

<東日本>

上諸あづさ（かみもろ あづさ）（推薦者＝松田澄子）

<西日本>

小野寺いずみ（おのでら いずみ）（推薦者＝時田秀久）

第2号議案 再入会承認の件

本日の理事会までに入会申込み個人会員1人あり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の個人会員1人の再入会を承認した。

（1）個人会員（1人）

<東日本>

オカダ ジュンイチ (退会年月日：平成24年10月31日)

第3号議案 休会承認の件

本日の理事会までに休会届を提出した個人会員2人の休会を承認した。

(1)個人会員(2人)

<東日本>

橋本文香(はしもと あやか) (暫くパッケージデザインから離れるため)
[27年8月～29年7月希望]

和久井裕史(わくい ひろし) (資生堂ヨーロッパ・フランス駐在のため)
[27年7月～29年6月希望]

第4号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した法人会員2社、個人会員2人の退会を承認した。

(1)法人会員(2社)

<東日本>

株式会社サムシング (事業縮小のため) [6月末退会希望]

株式会社ナナミ (事業の現状から判断して) [7月末退会希望]

(2)個人会員(2人)

<東日本>

岡野邦彦 (一身上の都合により) [8月末退会希望]

山本素久(もとひさ) (法人代表になるため) [7月末退会希望]

第5号議案 協会名義使用承認の件

山崎事務局長より、下記の後援名義使用依頼2件、協賛名義使用依頼1件、共催名義使用依頼1件については過去に承認実績があること及び、印刷博物館からの共催名義使用依頼は事前に理事長承認を得て、回答済みであることが案内された。

(1) 後援名義の使用依頼

- ・エコビジネスの芽を見つけ、育てるコンテスト「eco japan cup 2015」への後援名義使用依頼
主催 エコジャパン官民連携協働推進協議会
- ・「第9回メディア・ユニバーサルコンペティション」への後援名義使用依頼
主催 全日本印刷工業組合連合会

(2) 協賛名義の使用依頼

- ・「第26回 西日本食品産業創造展 '16」 展示会開催への協賛名義の使用依頼
主催 日刊工業新聞社西部支社

(3) 共催名義の使用依頼

- ・展覧会「現代日本のパッケージ2015」への共催名義の使用依頼
主催 凸版印刷株式会社 印刷博物館
- ・「富山デザインフェア2015」共催名義の使用、協会賞の授与依頼
主催 富山デザインフェア実行委員会

第6号議案 正副理事長報告

加藤理事長、伊藤副理事長から下記の報告があった。加藤理事長からは、鹿児島での梅原理事とのトークセッションを聞きに見えた小野寺さんから今回入会申込があったが、皆さんもいろんな機会を捉えて新入会員の入会促進に努めて欲しい旨の要請があった。

田川理事からはD-8運営会議出席時の様子が案内され、梅原理事からは特許庁普及支援課との意見交換時の様子が案内された。また、伊藤副理事長からはD-8デザイン保護研究会に出席し、創作証の普及に関しては次の一手が課題であることが案内された。

- 加藤理事長報告
- ・7/24 鹿児島の食とデザインイベントにおいてトークセッションに梅原理事と共に出席。
 - ・8/6 会議(26年度決算、27年度予算案審議)に出席。
田川理事、山崎事務局長同席。
 - ・8/14 特許庁普及支援課4名との意見交換会に出席。
梅原理事、山崎事務局長同席。
 - ・8/27 日本包装技術協会・2015日本パッケージングコンテスト表彰式に出席。
 - ・8/31 日本食料新聞社セミナーに講師として出席。

伊藤副理事長報告

- ・8/2 D-8デザイン保護研究会に出席。

第7号議案 平成28・29年度役員選挙に関する「選挙管理委員会設置」及び「選挙管理委員選任」承認について

山崎事務局長から資料に沿って提案があり、「選挙管理委員会設置」及び「選挙管理委員選任」に関しては、原案通り承認された。選挙管理委員5名は下記の通りである。

- ・選挙管理委員 委員長：大澤 靖氏(東日本個人会員)
 委 員：時田秀久氏(東日本個人会員)、松浦真二氏(東日本個人会員)
 ：桜井 淳氏(中日本個人会員)、中村尚史氏(西日本法人会員)
- ・役員選挙の詳細については、10月上旬に送付予定の役員選挙関連資料で確認ください。

第8号議案 加藤理事長メッセージ「昨今の話題から、知的財産権に関して思うこと。」
 について

加藤理事長から、2020年東京オリンピックのエンブレムデザイン使用中止にからむ一連の事柄についてのコメントが案内された。これは、会員向けと一般人への発信を狙いとしており、会員に向けてはメルマガでJPDA理事長としての考え方を伝え、一般の人々に対してはインターネット・ホームページに掲載しJPDAの考え方をアピールすることとした。インターネット担当の江藤理事から、ホームページ掲載に当たってはコメントの最初にタイトルを付けて欲しい旨の要望があった。内容に関してはメルマガで確認ください。

第9号議案 平成27年度正味財産増減予算書修正について

山崎事務局長から標題に関し下記の内容が案内された。

アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクト(A S P A C事業)の国際交流基金からの受託に関する、収益事業としての変更認定申請は8月24日に認定されたが、その際、内閣府より平成27年度正味財産増減予算書につき下記のような指摘があった。

- ・JPDAに事業収益が認められているのは、公益事業と収益事業の2つであって、法人会計のところには収益は発生しない。従って、予算書にある、①インターネット・会員専用ページ運用費100,000円、②事業カレンダー印刷費40,000円、③交流会参加費2,846,000円、④APDお土産代30,000円は、事業収入から除外して、別の費目で処理すること。
- ・このことは、費用処理においても同様で、事業費として処理するのではなく、管理費で処理すること。
- ・上記2点の指摘に対し、収益に関しては、①②④は「雑収入の中の、カレンダー、台帳作成費等預り金」、③は「雑収入の中の、交流会参加預り金」で処理することとした。
- ・費用処理に関しては、①は「管理費の中の制作費」、②は「管理費の中の印刷製本費」、③は「管理費の中の交流会費」、④は「管理費の中の雑費」で処理することとした。

上記の修正は、費目の置き換えで、予算合計には何ら影響するものではないが、27年度の決算において内閣府指示に従った経理処理が出来るように予算も事前に修正しておくものである。

第10号議案 JPDA新入会員獲得に向けての検討について

新入会員獲得策につき、加藤理事長・伊藤副理事長・田川総務理事の3人で検討した内容が5つのポイントに整理され加藤理事長から案内された。また、学生会員獲得に向けて中森理事・伊藤副理事長の検討案が案内された。

①新入会員獲得ツールの作成

- ・JPDA入会促進用パンフレットの作成→新V I マニュアルも制作する。
- ・JPDA協会案内のデジタル版を作成、P P T制作。
- ・制作担当：総務担当の田川理事が担当する。→予算は出版予算(新企画本)の中で検討する。

☆これらのツールは各種イベントなどで必ず配布し、新入会員の獲得に繋げる。

②若手デザイナー、デザイナーを目指す学生へのアプローチ

- ・A S P A C (アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクト)の活動を中心に学生へのアプローチを推進する。
- ・セミナー、ワークショップ、コンペティションを通じて、JPDAの魅力を発信する。
- ・学生会員(学生フェロー)の検討。

JAGDA・JIDAの学生会員制度などを参考に具体化を検討。→加藤理事長+伊藤副理事長+総務+アスパック+教育

③法人・企業への対応(JPDAに魅力を感じてもらうために)

- ・法人・企業が東西合同での検討会を開催し、今後の活動の方向を探る。
- ・加藤理事長の希望としては、調査研究委員会の「地域のデザイナー研究」の次の研究テーマに「法人・企業への対応強化」を取り上げ、+東日本+西日本の法人・企業で検討して欲しいとの意向である。

④入会して貰いたいデザイナー推挙へのアプローチ

- ・2011年～2015年のJPDA大賞入賞者にアプローチする。
- ・デザイナーの推挙案については梅原理事に検討依頼。

⑤国内交流を全国会議活動から地方セミナー活動へシフト

- ・東北プロジェクトなどの知見を得て、出前セミナー、キャラバンセミナーの可能性を得た。他の地方、鹿児島、福岡など具体化、予算案作成、次年度に発展させる地方会員の獲得につなげる

第11号議案 委員会報告

<決済事項>

○総務

- ・山崎事務局長から、通常総会後に開催された記念講演会「88歳がなんぼのもんや」～鹿目尚志のアッカンベー寿～についての収支計算報告があり、公益会計は、協会補助280,000円、支出合計263,458円、収支差額+16,542円、法人会計は、収入合計520,000円、協会補助0円、支出合計516,620円、収支差額+3,380円を承認した。

開催日時：平成27年5月29日(金) 17:00～18:30

記念講演会講師：鹿目尚志氏(東日本個人会員、第3回全広連日本宣伝賞・山名賞受賞)

会場：東京ガーデンペレス 2F「高千穂A」

出席者数：130名

事業の詳細に関しては、広報誌PD22号で確認ください。

○国際交流

- ・森理事から、「APD in ソウル 2015」の公益会計報告があり、収入合計1,422,000円、支出合計1,421,668円、収支差額+332円を承認した。

開催日時：平成27年5月14日(木)～5月16日(土)

会場：韓国・ソウル 東大門デザインプラザ

出席者数：25名

実施結果報告書については、7月理事会で報告済みである。

○西日本

- ・中森理事から、西日本総会報告+勉強会 つなぐ1「特産品のパッケージデザイン。デザイナーへの期待とは？」の会計報告があり、公益会計は収入合計86,500円、補助金37,000円、支出合計103,593円、収支差額+19,907円、管理会計は、収入合計115,500円、補助金0円、支出合計115,500円、収支差額0円を承認した。

開催日時：平成27年6月19日(金) 16:00～19:00

開催場所：メビック扇町 交流スペース3

講師：中越 出氏(東日本個人会員、調査研究委員会)

出席者数：56名(会員：49名、一般：6名、学生：1名)

2015年度の勉強会テーマは「つなぐ」で、「人と・未来と・地域と・気持ちと」をつないでいく...という想いを込めて表している。第1回目の勉強会は「地域」とつなぐをテーマに「特産品のパッケージデザイン。デザイナーへの期待とは？」と題して調査委員会の中越氏に来ていただき、全国事業者調査報告書をもとに解説講演を行ってもらった。昨年7月頃に会員の皆さんに届いていた報告書だったが、参加者の中で「聞いたことがある」と答えた会員はごくわずか...。なかなかキビシイ状況の中、スタートした解説講演であったが、中越氏の解説はとても丁寧で非常にわかりやすく、私達パッケージデザイ

ナーにとってはグイグイ引き込まれる内容であった。

この後、第34回通常総会報告が各担当理事から行われ、最後に10月2日に行われる全国会議 in 東大阪の予告を行った。

<報告事項>

○国内交流

- ・森理事から、10月2日・3日に開催予定の「全国会議 in 東大阪 2015」参加申込状況が案内され、ほぼ目標としている110名に近づきつつあることが案内された。
- ・桑理事からは、来年度の全国会議は北陸新幹線が開通して盛り上がっている「金沢→富山」を計画していることが案内された。

○国際交流

- ・森理事から、資料に沿って下記の案内があった。冒頭、ASPAC事務局員として8月に採用したアラン千恵さんの紹介があり、アランさんの挨拶があった。

なお、加藤理事長からASPACに関し、計画が決まってからの報告ではなく、JPDAの意向が反映できるタイミングでの案内にして欲しい旨の要請があった。

1、活動報告 1

○今年度の活動

- ・タイでの活動 11月17日～24日（予定）
@TCDC(タイ国立デザインセンター)バンコクでの巡回展、デザインフォーラム開催、その他、大学にてワークショップなど
渡航予定者：ササダ委員長、森理事他 6名
- ・北京・ハノイ調査 12月上旬予定 詳細未定
来年度コンテスト参加要請に向けて関係者MTG

○委員会活動 全体委員会を毎月開催+部会ごとに活動を行っている。

9月より本格的に部会別活動を実施する予定である。

- ・イベントコンテンツ部会、・広報部会、・スポンサー部会、・学校部会
- ・学生チーム部会 / 西日本部会 / 海外運営部会

○2016コンテスト概要

[テーマ]「サプライズ」学生らしいユニークな発想で、楽しい「驚き」のあるアイデアを募集

[ジャンル] オールジャンル（ジャンルごとの部門設置はしない）

[スケジュール]

- 2016年6月 エントリー（登録）
2016年7月 一次審査（書類：ラフスケッチ・写真当にて審査）
2016年11月 二次審査（立体モックアップ・実物にて審査）
2017年1月15日（日） 最終審査（立体モックアップ・実物にて審査）
2017年1月16日（月） 表彰式・レセプション
2017年1月17日（火） デザインフォーラム
2017年1月18日（水）～20日（金） その他企業研修など

※一次審査～デザインフォーラムの会場はDICグラフィックス様2F会議室を
仮予約済み

[賞] 各国の二次審査にて入賞者を3名ずつ選出→(3名×6～8カ国・地域)
賞数：入賞+入選=各国応募者全体の20%以上を想定

[スポンサー] 参加国各国にて関連企業・団体を中心に募集

※作品展の会場はDICグラフィックス様2Fホワイエを使用可能か確認中

2、活動報告2

○インドネシアでの活動

日 時：2015年8月6日（木）～12日（水） 計7日間

訪問場所：インドネシア（ジャカルタ）

目 的：来年度のコンペティションに向けた調査・告知活動・関係者とのMTG

渡 航 者：講師の藤田理事、森理事他5名

活 動：

- 1) 2014年度コンテスト受賞作品展 ジャカルタを中心に6カ所で巡回展を開催
- 2) セミナー・ワークショップ開催 藤田理事を講師に・日本の商品の特長、
JAGDA学生ポスター展、・日本のパッケージデザイン、・折り紙ワークショップ
が開催された
- 3) 展示会視察
- 4) 関係者とのミーティング
- 5) まとめ インドネシアでは学生数や学部が増加傾向にあり、デザインに対する
関心の高まりを感じた。ただ、パッケージデザインという概念が浸透しておら
ず、今後の成長が待たれる。そう言う段階においてASPACがインドネシアのパ
ッケージデザインの発展の一翼を担うこと、また、受賞学生が将来自国で、さ
らにはアジアを舞台に活躍するための学びの場となるべきであると言う本事業
のミッションを再認識させられる有意義な機会となった。

○コンペティション

- ・名久井理事から、日本パッケージデザイン大賞のカテゴリー検討案が纏まったので資料として本日配布しているが、今日は検討時間がなく11月理事会で審議の予定なので、それまでに当資料をよく読んできて欲しい旨の案内があった。

○展覧会

- ・牛島理事から、資料に沿って2016年から隔年で2020年までの3回の展覧会事業計画の概要が案内された。2016年は「日本を包む展・・・もう一度『日本』を本質的に見直す(仮)」。2018年は「言葉のいらぬパッケージデザイン展・・・パッケージクリエイティブの底力(仮)」。その中で、最終の年に当たる2020年にはJPDA60周年記念企画展に加え、第3回創作展を開催したい旨が小川理事から補足された。
- ・また、加藤理事長から資料に沿って、「2020 JPDA 記念プロジェクト 準備委員会」を立ち上げ、「展覧会」「講演会、セミナー、オープニングパーティー」「出版、公式カタログ」の3つの事業(チーム)の核に「理事長・副理事長を中心にプロジェクトチーム」を結成し、当チームをコアにトライアングルの組織を構成した準備委員会により、事業を推進していく概要が案内された。また、当企画には、印刷博物館さんの協力が欠かせないことも併せて案内された。

○出版

- ・山崎理事から、インデックスに関して2016年版は前回よりも作品掲載要領に自由度を持たせたい旨が案内された。また、デザイン入稿に関してもインターネットを介してのデジタル入稿とすることで入稿作業の簡便化を図る旨が案内され、実際の運用手順を実演で紹介して貰った。なお、掲載原稿関連の問い合わせは六耀社・藤川さんであることを徹底して欲しい旨を、当日理事会にオブザーバーとして出席していた藤川氏に要請した。

○教育

- ・山崎理事から、11月26日に開催予定の教育セミナーの概要が案内された。
 - ワークショップタイトル「～先輩から学ぼう～パッケージデザインの基礎講座」
 - 6講座を予定し、先輩講師と教育委員会メンバーが協力して講座を運営する
 - 募集案内は10月15日にメール配信し、10月31日に申込締切
 - 参加費：会員 1万円、非会員 1万5千円、学生 3千円
 - 会場：DIC大会議室
 - 時間：9:00～18:00 理事長挨拶 8:50から 受付 8:00から

○インターネット

- ・江藤理事から、加藤理事長のメッセージを含む東北プロジェクトの活動をホームページに掲載すること及び、ジャパンデザイナーズに関するアンケート調査を8月3日～17日に実施し今後の運営に活かすことにしている旨が案内された。

○デザイン保護

- ・伊藤副理事長から資料に沿って、事業活動報告並びに知財セミナー開催結果が案内された。

1、事業活動報告について

1) HP委員会レポートページの更新

7月31日【V o l . 69】

「知財セミナー・概要編の実施報告7/16」

- ・情報発信「デザイン保護ハンドブックを読み解く・セミナーの概要」
- ・活動報告「2014年度 第5回D-8デザイン保護研究会参加」

8月27日【V o l . 70】

「提案デザインの模倣を疑われた場合・公証役場の確定日付制度」

- ・情報発信「公証人による確定日付の付与」
- ・活動報告「2015年度 第1回D-8デザイン保護研究会参加」8月20日
議事録概要掲載

2) 知財セミナー実施

7月16日第1回パッケージデザイン知財セミナー実施

〈デザイン保護ハンドブックを読み解く〉概要編

9月3日第2回知財セミナー実施

「デザイン保護ハンドブックを読み解く」応用編

2、知財セミナー開催結果

1) 第1回7月16日実施報告

- ・実質参加者数：40名（参加受付数45名、欠席5名）
- ・アンケート回答数：39名

2) 第2回9月3日実施報告

- ・実質参加者数：42名（参加受付数45名、欠席3名）
- ・アンケート回答数：40名

3、D-8 デザイン保護研究会参加

2015年度 第1回 D-8 デザイン保護研究会 8月20日 18:30～20:30

於：新宿パークタワービル リビングデザインセンターOZONE 8F (JID会議室)

※ 上記の詳細は、インターネットホームページで確認ください。

○アーカイブ研究会

- ・欠席の信藤理事に代わり、山崎事務局長から資料に沿ってアーカイブ委員会収蔵品38作品(5月1日現在)の紹介を行った。

○調査研究

- ・加藤理事から、11月を目標に地域のデザイナー調査の報告書の発行と、インターネットホームページへの掲載に向け最後の纏めを行っている旨の報告があった。

○東北プロジェクト

- ・江藤理事から、9月5日に日本デザイナー芸術学院仙台校においてポーラ化成工業の鈴木さん、サンデザインアソシエーツの竹澤さんと3人で赴き、学生向けセミナー&ワークショップを開催したこと及び、6日に「トークカフェ in 仙台」において江藤理事がパネラーとなり、佐々木氏の司会進行で会場の人達とのトークを行ったことが案内された。

○東日本

- ・竹内理事から、トークカフェは10月下旬、新年賀詞交換会は来年1月29日(金)に歌舞伎座で開催予定であることが案内された。

(1月理事会は 1月29日 13:30~17:00 文京シビックセンター(区民会議室)を予定)

○中日本(北陸)

- ・欠席の畝野理事に代わり、山崎事務局長から資料に沿って10月2日~4日に開催される富山デザインフェアにおいて、最終日の4日に伊藤副理事長がパッケージデザインセミナーの講師を務められることが案内された。

○西日本

- ・井上理事から資料に沿って、8月28日(金)に西日本勉強会つなぐvol.2「アートから伝わること 写真家と華道家が見た『福島』」を写真家の赤坂友昭氏・華道家の片桐功敦氏を迎えて開催したことが案内された。

第12号議案 事務局報告

山崎事務局長から下記の報告があった。

- ・会員状況について
- ・2016年度の顕彰者(社)推薦の依頼について
- ・「マイナンバー制度」の概要に関する小冊子の配布について
- ・展覧会「現代日本のパッケージ2015」のDM配布について

- 特許庁意匠課との「意匠制度や制度の活用」についての意見交換会が下記スケジュールで開催された。意見交換会は意匠審査企画官・油科壮一氏の資料(・意匠制度の概要と包装用容器分野の出願動向、・公的研究と意匠制度)に沿った説明の後、理事からの質問に答える形で進められた。

午後1時30分~午後2時30分

出席予定者 特許庁意匠課 意匠審査企画官 油科壮一氏
特許庁意匠課 係長 菊地拓哉氏
経産省クリエイティブ産業課 課長補佐 藤澤崇彦氏

第13号議案 次回理事会開催スケジュール

日時：平成27年11月11日(水) 午後1時30分~5時

場所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室 A

東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅前